

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 肇 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'24 5

名古屋園芸

新緑の季節  
はじめるグリーン



グリーンスタイルモダンアレンジ ¥4,400 (税込)

そして、枝物類においては、この時期の定番「ドウダンツツジ」。美しく細やかな形状をした明るい葉で、枝ぶりの良さ、日持ちの良さから人気の高い枝物になります。シンプルなフラワーベースにドウダンツツジを大きくあしらうことで、スタイリッシュな空間を演出することができます。

また、この時期のギフトとしてグリーンスタイルアレンジにしても良いですね。アレンジメントにすることで管理もしやすくおすすめです。

5月の初旬から暦の上では初夏に入ります。初夏の汗ばむ陽気に包まれる今月はグリーンを飾ってお部屋を爽やかに彩ってみてはいかがでしょうか。

## グリーンを楽しむ

5月5日は立夏。草木の若葉が美しくなる季節です。この時期から新緑の枝物や葉物が豊富に店内を彩るようになります。今月はグリーンをメインにした花飾りで、初夏の爽やかな空気をお部屋に取り入れてみてはいかがでしょうか。

グリーンの魅力は個性的な葉形、質感、トーンの豊富さにあります。数種の異なるグリーンを組み合わせることで、爽やかなグラデーションを表現することができます。

例えば「ゼラニウム」や「マメ科の葉」、「ナズナ」などの草花系の品目でのコーディネートはシャンペトル風のやさしい雰囲気表現することができます。「ポリシヤス」や「ドラセナ」などの観葉系のコーディネートならモダンテイストに。さらに、線の細い葉物「スチールグラス」を駆使すれば、アーティスティックに表現することもできます。



グリーンスタイルナチュラルアレンジ ¥4,400 (税込)

## カンタンハーブを楽しもう

とにかくカンタンに何か育ててみたい。しかもかわいく、カッコよく。それをかなえてくれるのがハーブのみなさんです。またそれが手軽に料理に使えるなんて。いいことばかりの植物です。5月は一年で一番多くのハーブが出回る季節です。

ミント、ローズマリー、バセリ、バジルなどカンタンに育てることのできるハーブはたくさんあります。好きな時に好きな分だけフレッシュなハーブが手に入るの、自宅で育てているからこそメリット。自分で育てることによってフレッシュな香りや味わいを楽しんでみましょう。

もちろん植え方や育て方がわからない、初めて植物を育てる、なんでも気軽にスタッフにたずねてくださいね。ポリウムいっばいに育てるポイントをアドバイスしますよ。

育てることになれている方はハーブの寄せ植えで楽しむのもいいでしょう。始めはカワイイ寄せ植えになっていてもなにか1つのハーブが生存競争に勝っていき、それだけが残ってしまうこともよくあります。初めて育ててみる方は1つのハーブを1つの鉢で育てることをオススメします。左写真のミントはペットボトルリサイクル天然素材をミックスして作られた『ルーツポーチ』という不織布製の環境にも優しい植木鉢に植え込んであります。通気性や排水性が良いため、植物をじっくりしっかり育てることができます「かわいく、カッコよく、カンタンに」というテーマをかなえてくれるのがルーツポーチです。

ハーブにもよりますがこの季節は植物の生育にも最適な季節です。小さい苗で購入しても一ヶ月もすると見事なポリウムに成長します。寄せ植えもとてもカワイイのですが、『1つの植物を楽しむ』これが夏に向けての極意です！



【スペアミント】ミントはとにかくカンタンに育てることのできるハーブのひとつ ミントの種類によって葉っぱのかたちも様々。見た目も楽しめてフレッシュハーブとして料理にも楽しめるいいことばかりのハーブです。



キンバイソウ ヤマトキソウ (第3図)

高山植物図譜 井上正春画 木版多色刷  
昭和6年(1931) 内山美術肆刊  
全50図の内(1931) 縦38.2cm 横25.0cm

### information

#### シャクヤクの東売りイベント情報

ころんとした丸い蕾からは想像つかないような大輪を咲かずシャクヤクは、ボリューム満点でとても人気の切花です。そんなシャクヤクは5~6月にかけて旬を迎え、名古屋園芸でも多数の品種が入荷します。そこで、東売りでよりお得にお楽しみいただけるイベントを開催します。この機会に華やかなシャクヤクをお家に飾ってみてはいかがでしょうか？

**\*開催期間**  
5月20日(月)~5月31日(金)を予定しております。仕入れ状況により期間が変更になる可能性がございます。

**\*開催場所**  
1階切花コーナー



第一図 崑崙獅子



本帖記載品種は次の通り  
一 崑崙獅子 二 東撰 三 月世界  
四 粧ひ 五 黒龍錦  
六 瀟鳥 明治の誉 七 白幡龍 無返際  
八 日本紅 九 花大臣 十 白獅子  
十一 連鶴 光輝山 十二 東鏡

当帖は縦39.0、横52.3cmの大幅面、中心部で縦二折とした帖仕立て、木版多色刷り本である。著者の谷上広南は明治12年生まれ、昭和3年没(1879~1928)。関西地区を中心に図案作家として活躍した。同様の象形花卉帖(一)(二)、並びに西洋草花図譜全5帖など当文庫に架蔵する。  
象形花卉帖(一)は、12面いずれもボタンの花が実物大と思われる大きさで描かれ、全15品種が現されている。こうした木版多色刷り本は手間のかかる豪華本はたゞいまでは考えられない出版であるが、明治から昭和初期には植物由来の図譜として東京では春陽堂、京都では芸艸堂などで数多く刊行された。こうした木版刷り本は理学の植物分類学者や園芸学の品種発達史資料としては、名花づくし程度として扱われ、これまたあまり重視されていない。  
しかし、美術としての木版多色刷り本は我が国が世界に誇るべき出版物と私は愚考する。

## 花の博物館 第340回

### 象形花卉帖(一)

谷上広南著 大正13年(1923)  
芸艸堂刊 雑花園文庫蔵  
小笠原左衛門耐亮軒